

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公表番号】特表 2018-534577 (P2018-534577A)

【公表日】平成 30 年 11 月 22 日 (2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-045

【出願番号】特願 2018-526192 (P2018-526192)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/545 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/545 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 6 日 (2019.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マスキング材コーティング、および 1 つ以上の結合剤を付着することを目的とした複数の離散反応ゾーンを備える基板であって、前記ゾーンは前記基板上のコーティングされていない領域であり、前記マスキング材が 1 又は複数の樹脂を含み及び  $60 \sim 120^\circ$  の接触角を有する、前記基板。

【請求項 2】

前記基板が、 $100 \text{ mm} \times 99 \text{ mm}$  の大きさであり、かつ、前記基板が、 $9 \text{ mm} \times 9 \text{ mm}$  の大きさである四角形小区分を備え、各四角形小区分は離散反応ゾーンの格子を備え、及び前記各四角形小区分が、 $5 \times 5$ 、 $10 \times 10$ 、 $20 \times 20$ 、または  $30 \times 30$  の格子の離散反応ゾーンを備える、請求項 1 に記載の基板。

【請求項 3】

前記離散反応ゾーンの密度が  $0.08 \sim 15 \text{ ゾーン} / \text{mm}^2$  の範囲である、請求項 1 又は 2 に記載の基板。

【請求項 4】

前記離散反応ゾーンの密度が  $0.2 \sim 13 \text{ ゾーン} / \text{mm}^2$  の範囲である、請求項 3 に記載の基板。

【請求項 5】

各離散反応ゾーンが、 $0.1 \text{ mm} \sim 1 \text{ mm}$  の範囲の直径を有する、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の基板。

【請求項 6】

前記離散反応ゾーン上に固定された 1 つ以上の結合剤を備える請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の基板。

【請求項 7】

前記基板が、シリコン、金属酸化物、セラミック、ガラスまたはプラスチックを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の基板。

【請求項 8】

前記基板が、セラミック、ガラスまたはプラスチックである、請求項 7 に記載の基板。

【請求項 9】

前記基板が白色セラミック基板である、請求項 7 又は 8 に記載の基板。

## 【請求項 10】

前記接触角が 90 ～ 120 ° である、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 11】

前記基板に塗布された前記コーティングの厚さが、2 ～ 50 μm (ミクロン) 厚である、請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 12】

前記マスキング材コーティングが、オフホワイト～黒色の範囲の色である、請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 13】

前記離散反応ゾーンを化学的に活性化して結合剤の固定を可能とする、請求項 1 ～ 12 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 14】

前記マスキング材が、色素を含む、請求項 1 ～ 13 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 15】

前記色素が、カーボンブラック色素である、請求項 14 に記載の基板。

## 【請求項 16】

前記マスキング材が、アクリル樹脂を含む、請求項 1 ～ 15 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 17】

前記マスキング材が、エポキシ樹脂を含む、請求項 1 ～ 16 のいずれかに記載の基板。

## 【請求項 18】

マスキング材コーティング、および 1 つ以上の結合剤を付着することを目的とした複数の離散反応ゾーンを備える基板であって、前記ゾーンは前記基板上のコーティングされていない領域であり、前記マスキング材が、色素、アクリル樹脂、エポキシ樹脂および構造剤を含む、前記基板。

## 【請求項 19】

前記色素が、前記マスキング組成物の 1 ～ 8 % (w/w) の量で存在し；  
前記エポキシ樹脂が、前記マスキング組成物の 15 ～ 50 % (w/w) の量で存在し；  
前記アクリル樹脂が、前記マスキング組成物の 2 ～ 10 % (w/w) の量で存在し；  
前記構造剤が、前記マスキング組成物の 15 ～ 50 % (w/w) の量で存在する、  
請求項 18 に記載の基板。

## 【請求項 20】

前記色素が、前記マスキング組成物の 5 % (w/w) の量で存在し；  
前記エポキシ樹脂が、前記マスキング組成物の 30 % (w/w) の量で存在し；  
前記アクリル樹脂が、前記マスキング組成物の 10 % (w/w) の量で存在し；  
前記構造剤が、前記マスキング組成物の 20 % (w/w) の量で存在する、  
請求項 18 または 19 に記載の基板。

## 【請求項 21】

前記色素が、黒色色素である、請求項 19 又は 20 に記載の基板。

## 【請求項 22】

マスキング材コーティング、および 1 つ以上の結合剤を付着することを目的とした複数の離散反応ゾーンを備える基板であって、前記ゾーンは前記基板上のコーティングされていない領域であり、前記マスキング材が 1 又は複数の樹脂を含み、基板に塗布された前記コーティングの厚さが 2 ～ 50 μm 厚である、前記基板。

## 【請求項 23】

前記結合剤が、抗体である、請求項 1 ～ 22 の何れかに記載の基板。

## 【請求項 24】

前記マスキング材がシリコンを含まない、請求項 1 ～ 23 の何れかに記載の基板。